

2018
10.27
sat

福島 の 森 林 利 用 と 文 化 の 再 構 築 に 向 け て

東京電力福島第一原子力発電所の事故から7年半。
放射性物質による森林汚染という未曾有の事態から森林、林業、山村
をどう再生させるか。福島に根差す研究者が考える。

日 程 10月27日(土) 13時30分～17時(受付開始12時30分)

場 所 杉妻会館3階「百合」(福島市杉妻町3-45)



報告者①

金子 信博

福島大学教授



報告者②

木村 憲一郎

福島林業研究会、
林業経済学会員



報告者③

林 薫平

福島大学准教授



座長

早尻 正宏

北海学園大学准教授、
林業経済学会
広報渉外担当主事

スケジュール

【司 会】伊藤幸男(岩手大学准教授、林業経済学会広報渉外担当理事)

13:30～13:35 開会の挨拶(林業経済学会)

13:35～13:40 趣旨説明(早尻正宏)

13:45～14:25 金子信博「森林の放射能汚染の現状と今後」

14:25～14:55 木村憲一郎「福島の林業・木材産業の成立過程と現局面」

14:55～15:25 林 薫平「福島に里山の経済をとり戻す」

15:25～15:40 休憩

15:40～16:50 パネルディスカッション(座長:早尻正宏、パネリスト:報告者3名)

16:50～17:00 閉会の挨拶(福島大学)

主 催: 林業経済学会、福島大学食農学類準備室

後 援: 一般財団法人林業経済研究所、東北森林科学会、東北農業経済学会、日本協同組合学会、
公益財団法人森林文化協会、地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会、福島県